

「ふくすいき

令和6年12月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ピューターくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

● 全国水道企業団協議会第55回企業長・事務局長経営会議【出席しました】

〔11/13（水）・14（木）神奈川県横浜市〕

「全国水道企業団協議会第55回企業長・事務局長経営会議」が神奈川県横浜市で開催され、全国の水道企業団等から会員約90名が出席し、当企業団からは名古屋企業長他職員1名が出席しました。

11月13日は横浜市内の会場で、「地震発生時の災害応援協定を締結している民間事業者の参集基準等について」などの8項目の懇談事項が協議されました。

翌日の11月14日は、当企業団も名を連ねている全国水道企業団協議会第196回役員会が行われ、役員会後には国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術）付課長補佐のおおがみようへいにより「能登半島地震を踏まえた上下水道地震対策について」の演題で講演がありました。

＜施設課 赤尾＞



経営会議の様子



大上陽平氏の講演

● 福岡地区水道企業団議会議員の退任・就任

第4区（宗像地区事務組合）選出の神谷 建一 議員が、令和6年10月31日付で企業団議会議員の任期を満了され、後任として、高山 賢二 議員が11月13日付で企業団議会議員に就任されました。

＜議会事務局 山田＞



高山 賢二 議員

●江川・寺内ダム関係利水者会議 令和6年度後期 提言活動【出席しました】

〔11/25（月）・26（火）東京都千代田区，埼玉県さいたま市〕

江川・寺内ダム関係利水者会議による令和6年度後期提言活動が行われ、当企業からは名古屋企業長他職員1名が参加しました。

現在進められている筑後川水系ダム群連携事業の促進等について、国土交通省、財務省、農林水産省、地元選出国會議員、独立行政法人水資源機構へ提言書を提出しました。

<計画調整課 秋山>



提言活動（国土交通省）



提言活動（財務省）

●用水供給事業促進対策委員会〔11/20（水）企業団委員会室 外〕

用水供給事業促進対策委員会（企業団議員全員で構成）が開催され、工事請負契約の締結等について説明し、質疑が行われました。

また、委員会終了後、監査委員と合同で「福岡導水施設地震対策事業」2号トンネル併設水路入口工区工事現場の現地視察を行い、事業や工事の概要などについて説明を受けました。

<総務課 岸>



福岡導水施設視察の様子

●牛頸浄水場コスモス花見会【開催しました】〔11/8（金）・9（土）牛頸浄水場〕

当企業団牛頸浄水場では、地域の皆さまを対象にコスモス花見会を毎年開催しております。

今年は悪天候の為一度延期となりましたが、11月8日と9日はともに天候に恵まれ、2日間で約380名もの皆様に来場していただきました。

今年のコスモスは猛暑の影響もあり、少し背丈は低かったものの、無事に満開となりました。来場された方々は、花畑の中を小さな子供さんと散策したり、写真撮影等をして和やかに過ごされていました。

今後も、地域の皆さまの良き思い出づくりの一助となれるよう努めてまいります。



美しく咲き誇る牛頸浄水場のコスモス

<牛頸浄水場 黒葛原>

■ 水源地域との交流事業

実施レポート

● 200 海里の森づくり・植樹【参加しました】〔11/16（土）大分県日田市中津江村〕

日田市中津江村において、200 海里の森づくり実行委員会の主催により、植樹活動が行われました。この催しは、筑後川上流域の森づくりを通して、有明海の水質環境づくりに貢献し、200 海里につながる豊かな水資源を未来の子どもたちに引き継ぐことを目的として実施されています。

当日は、福岡都市圏からは、糸島市の大学生 21 人、宗像市の大学生 24 人、宗像市の高校生 11 人、春日那珂川道企業団、大野城市、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団の職員など、あわせて約 70 人が参加しました。

植樹は、2002 年日韓共同開催のサッカーワールドカップで、カメルーンチームが合宿をした鯛生^{たいお}スポーツセンター内で行われ、モミジやサクラ約 180 本を植樹し、それぞれの思いを記入した木札を吊るしました。

植樹終了後は、昼食にバーベキューをいただいたあと、山々の紅葉を楽しむイベントに参加者の皆さんは満足されている様子で、植樹活動を通して水や森づくりの大切さを実感されたことと思います。

＜総務課 坂田＞



記念撮影の様子



思いを木札に託して



事前説明を熱心に聞く参加者



鯛生スポーツセンター裏山での植樹活動



● 弥生の都吉野ヶ里交流事業【参加しました】〔11/16（土）佐賀県吉野ヶ里町〕

福岡都市圏の水源である五ヶ山ダム水源地域において、水源地の大切さを理解し、水源地域の振興及び活性化を図ることを目的として、弥生の都吉野ヶ里交流事業実行委員会（吉野ヶ里町、福岡市水道局、当企業団で構成）の主催で、交流事業が実施されています。

福岡市内に居住するか通学する小・中学生と保護者の合計 33 人が参加し、那珂川市と吉野ヶ里町にまたがる五ヶ山ダムで、福岡市職員からダムの説明を受けた後、堤体から見学しました。

次に、ダム建設により水没する場所にあった御神木で 43mの高低差を引き上げて移植された「小川内おがわちの杉」を見学し、吉野ヶ里の職員から吉野ヶ里の自然・歴史などの説明を受けました。

その後、吉野ヶ里町の「さとやま交流館」で、猪肉などの地元の食材を使ったバーベキューや地元産の「栄西茶」で昼食をとった後、木の実を使った工作で、思い思いの作品作りに挑戦しました。

また、地域に昔からある景色を楽しみながら歩く、フットパス（坂本コース）などを体験しました。ボランティア・ガイドの方々の説明を聞きながら、吉野ヶ里町の歴史に触れつつ昔ながらの暮らしに思いを馳せる時間を過ごしました。

参加者の皆さんは、水や森林、水源地の大切さを学ぶとともに、自然豊かな吉野ヶ里町での一日を楽しまれたことと思います。

＜総務課 川中＞



五ヶ山ダムでの見学



さとやま交流館での昼食



木の実を使った工作に挑戦



フットパスの様子

● 「日帰りサステナブルトリップ」ドボク博士とゆく、ふくおかの“水”めぐりバスツアー【実施しました】〔11/23（土）朝倉市 寺内ダム周辺〕

福岡都市圏には大きな河川がなく、水道水の約 1/3 は筑後川の水です。筑後川から大きな恵みを受けている福岡都市圏の住民を対象に、ダムの見学やその役割、どのようにして水が運ばれてきているのか等を学び、朝倉市の皆さんとふれあう『水をめぐるバスツアー』を 11 月 23 日（土）に実施しました。（福岡テンジン大学と共催）

福岡都市圏からの参加者 28 人は 9 時過ぎに福岡市役所に集合し、寺内ダムに向けて出発しました。バスの中では、松永昭吾先生（横浜国立大学 総合高等技術研究院 客員教授）の興味深い水に関する講義を聞きながら、紅葉が始まった朝倉市の景色を楽しむ時間を過ごしました。

寺内ダムでは、ダム管理所職員の説明を熱心に聞いたうえで、普段入ることのできない監査廊の中に入り、ダムの内部の構造を見学しました。



寺内ダムでの説明に耳を傾ける参加者

その後、三奈木コミュニティセンターに移動し、朝倉市立十文字中学校の生徒さんやPTA等の皆さんと、ワークショップを実施しました。水源地域である朝倉市の魅力や印象を改めて考え、意見を交換することで新たな気付きや再認識をすることが出来たことが、事後のアンケートからもうかがい知ることができました。

大切な“水”を提供する側と、提供を受ける側の対話の場は、参加された皆さんに大変満足いただけたイベントとなりました。

<総務課 川中>



ダム監査廊の見学の様子



ワークショップの様子



ワークショップ終了後の集合写真

●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動【参加しました】〔11/26（火）朝倉市佐田ほか〕

江川ダム及び寺内ダム周辺において、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の共催で、小石原川及び佐田川流域の河川愛護・水産資源保護を目的とした清掃活動が実施されています。

今年は、小石原川及び佐田川流域をあわせて130人を超える申し込みがありましたが、当日はあいにくの雨で寒い中での活動となりました。

佐田川流域の寺内ダム周辺においては、当企業団のほか、大野城市、筑紫野市、太宰府市、春日那珂川水道企業団、古賀市、新宮町、福岡都市圏広域行政事業組合と水資源機構の職員など約50人が参加しました。

参加者は7班に分かれ、ダム湖周辺の空き缶、ペットボトル、びん、タイヤなどのゴミを回収し、リサイクルや適正処分のための分別作業を行いました。

大切な水資源や美しい環境を守るとともに、人々のマナー意識が少しでも向上することを願って、今後も河川美化運動に積極的に参加してまいります。

<総務課 川中>



雨の中で活動する佐田川班



ダム湖の沿道でゴミを回収する参加者



集めたゴミを前に記念撮影

■ 水資源機構だより

● 福岡導水管内調査を実施しました

福岡導水施設において、都市圏の水の3分の1を担う導水が安定的に行われるよう、令和6年12月3日(火)～13日(金)の期間、筑後川からの取水・導水を一時停止し、導水管内の調査及び補修を実施しました。管内に入る調査は2年ぶりとなります。

調査は、筑後川から13km地点にある①基山分局（基山町園部）と、②小郡鳥栖南IC付近の2箇所で行い、①では調査と同時に塗装補修も実施しています。

また、②では管内調査の省力化を目的として水中ドローンによる調査を実施し、導水管の劣化具合の測定などをAIによりどこまで精度を高められるか検証を行いました。

今後とも水資源機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」を第一とした管理を行っていきます。

なお、調査期間中は筑後川からの取水・導水を一時停止していましたが、山口調整池（天拝湖）の貯水を活用して都市圏へ水を届けていました。山口調整池には都市圏の水道用水約2週間分を貯水しており、今回の調査期間中に約200万 m^3 、約50%の水を利用しています。



導水管内をくまなく点検中



水中ドローンによる管内調査

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

12月、1月の予定

●大善寺玉垂宮の鬼夜〔1/7（火）久留米市大善寺町〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

「大善寺玉垂宮の鬼夜」は、大晦日の夜から正月7日まで行われる「鬼会」の最終日に行われる行事で、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

仁徳天皇56年（368年）1月7日、勅命により藤大臣が、当地を荒し人民を苦しめていた賊徒・肥前国水上の桜桃沈輪を、闇夜に松明を照らして探し出し、首を討ち取って焼却したのが始まりだと言われています。

1月7日は、「鬼面尊神渡御・還御」や「汐井汲み神事」、「シオイカキ」といった神事後、午後9時頃に二番鐘が打たれた後に、暗闇の中、奥神殿から鬼火（大晦日の夜神官が燧石で取った御神火）が出て、一斉に大松明に点火されます。

その後、燃え盛る大松明の前で「鉾面神事」が行われます。この「鉾面神事」は10分不足と時間は短いのですが、古式にのっとり、赤・青の天狗による相克の「魔払い神事」で、鬼夜の起源を表すとも言われています。

そして、いよいよ「大松明廻し」が始まります。長さ約13m、重さ約1.2tの「日本一」といわれる大松明6本が、紅蓮の炎を上げて燃え上がり、それを数百人の締め込み姿の氏子若衆が、「カリマタ（先が二又になった檜の棒）」で支えて、本殿を廻る様は圧巻です。その間、鬼は姿を隠したまま、シャグマ※の子どもたちに囲まれて鬼堂の周囲を7回半回ります。

この鬼の堂回りが終わると、一番松明が「惣門くぐり」を行います。これは、一番松明だけの特権で、燃え盛る大松明が狭い惣門をくぐり抜ける様子も見事です。

その後、鬼はシャグマの子どもや棒頭に護られて、密かに汐井場で禊をし、神殿に帰ります。鬼が神殿に戻ると、明りが灯されるとともに、厄鐘が、7・5・3と打たれ、行事が終わります。

なお、大松明の火の粉を浴びると無病息災といわれ、毎年、家内安全、災難消除、開運招福を祈願する多くの方々が賑わいます。



大松明廻しの様子

※ シャグマ：人の世ともう一つの世界（異界）との間を守る存在（「筑後の年中行事12ヶ月 篠原正一著」とされ、特異な被り物を付けた鬼の警護役

日 時 令和7年1月7日（火）13：00～23：30頃
※ 大松明点火は20：45頃～
開催場所 大善寺玉垂宮（久留米市大善寺町宮本1463-1）
問い合わせ先 大善寺玉垂宮社務所 TEL 0942-27-1887

■ 水道管の凍結防止策

寒さが厳しくなると水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破裂する事故が起きることがあります。水道管の水の凍結を防ぐには保温が一番です。

○ 低温注意報が発令されたら

低温のため水道管の凍結・破裂など著しい被害が予想される場合、低温注意報が発令されます。

→ [福岡管区気象台HPはこちらのハイパーリンク](#)

又はこちらの二次元バーコードより ⇒⇒⇒⇒⇒



冬の冷え込みが厳しいときは、気象情報に注意していただき、次の凍結防止策を行ってください。

○ 特に凍りやすい水道管

- ・屋外に露出している水道管
- ・風当たりが強く、日かげにある水道管
- ・水道管が北側にあるところ



○ 家庭でできる凍結防止策

- ・露出している管に保温チューブ（市販品）で蛇口部分にタオルを巻く。タオルを巻いた上から、ビニール袋などで防水してください。
 - ・メーターボックスの中にも、新聞紙を丸めてビニール袋に入れたものを詰めます。その上に、タオルをかけ保温します。
- ※寒波が過ぎたら、取り除くのを忘れずに！

○ 水道管が凍ってしまったときは？

- ・凍った部分にタオルなどを被せて、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。
- ※急に熱湯をかけると、水道管が破裂しますので注意してください。

○ 水道管が破裂した場合

- ・メーターボックス内の元せん（バルブ）を閉め、水を止めてください。
- 破裂した箇所に布やテープをしっかりと巻き付けてから、お住いの市町等の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。
- ※水道メーターから宅内の修理費は自己負担となります。

水源情報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編集後記

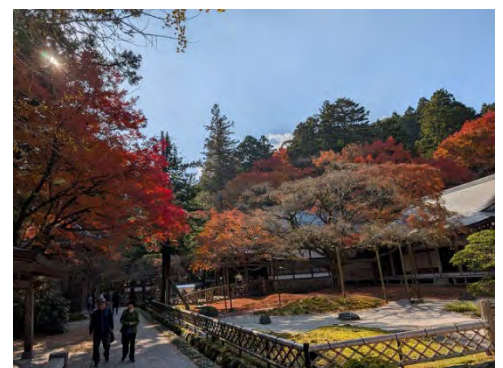
今年は11月になっても暑い日が続き、秋の訪れを感じる間もなく12月を迎えていました。

そこで、12月3日の火曜日に過ぎ行く秋の風景を楽しめるところはないかと、紅葉の名所として有名な『雷山千如寺大悲王院』へ出かけました。

境内には、福岡県指定天然記念物である樹齢約400年といわれる大楓おおかえでがあり、例年だと最も紅葉の美しい景色を見せてくれるのですが、その日は既に大楓の葉はかなり散ってしまっていました。

しかし、境内に至るまでの沿道や、近隣の山々を眺めた先には美しい木々の彩を楽しむことができました。境内の手水舎てみずやにも花が添えられていて、水の流れと植物の美しさは人の心を洗うような趣があると感じました。

しばし時間を忘れて自然に親しむことができました。



境内の大楓の葉は少なくなっていたが

<川>



雷山千如寺大悲王院に至る道端のイチョウ



紅く色づく近隣の景色



手水舎の花が美しい境内

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課企画広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供をお待ちしています！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook ページ〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP,SNS

50 周年記念誌ホームページ



50 周年アーカイブス

